

TOKYO MAIL NEWS



JR EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2022.6.30

No. 345



TWITTER

6月30日提出！東地申第69号

「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」に関する 説明申し入れ（電気関係）

2022年4月22日に示された「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」

<目的：働きがいの向上や経営体質の強化を実現していくこと>

同時に東京支社の仕事と組織の変更が示され、「現業機関の再編」における電気関係では、各設備技術センターの新設と体制の見直しが謳われています。

職場からの声

「説明会があったが、管理者が質問に答えられない」

「変革が求められているのに説明会ではこれまでと変わらないと説明された」

私たちは訴えます！

- このような大変革を行う施策ならば、JR発足から今日までの施策を十分に総括し、未来を創造すべきだ！
- 実施日までの期間が短かく、社員は不安を抱えながら業務に従事している！
- 現場に負担を強いるような施策の進め方には賛同できない！
- 労働条件や労働環境が大きく変更となることから、十分な労使議論が必要だ！

<申し入れ内容>

1. 「メンテナンス体制の再構築（設備21）」及び「メンテナンス体制の改善（設備21見直し）」、「電気部門における変革2022」の成果・課題を明らかにすること。
2. 各電力設備技術センター及び各信号通信設備技術センターに再配置する根拠とエリア区分、今後の役割を具体的に明らかにすること。
3. 電力部門の電車線・配電・変電を融合し電力設備技術センターに一体編成できる技術的根拠を明らかにし、メンテナンスセンターを各電力設備技術センターに統合できる根拠を明らかにすること。
4. 各信号通信設備技術センターに信号セクションと通信セクションを配置する根拠を明らかにし、信号通信設備技術センターで行う技術連携及び業務連携について具体的に明らかにすること。
5. 組織再編に伴い安全及び専門技術がどのように向上するのか明らかにし、電力部門及び信号通信部門の異常時対応に関する考え方を明らかにすること。
6. 各電力設備技術センター及び各信号通信設備技術センターの人材育成や教育プラン、異動サイクルを明らかにすること。
7. 各電力設備技術センター及び各信号通信設備技術センターの勤務及び労働環境について明らかにすること。
8. 組織再編に伴い各部門の設備管理システムがどのように統合・改修されるのか明らかにすること。
9. 組織再編について実施日を前提としたスケジュールの内容を明らかにし、組織再編に必要な設備、教育訓練及び資格について明らかにすること。
10. 体制変更に伴う電気部門の総務系社員の体制及び将来展望を明らかにすること。

実施日ありきではなく、安全と働きがいが担保される施策とするため、団体交渉に臨みます！